

令和5年度市民予算枠事業(協働推進型) 評価一覧

〈別表1〉

採択番号	事業名称	まちづくりパートナー(団体名)	内 容	評点	評定区分	来年度の意向
1	「美しい海をふたたび」事業 【通算18年目】	渡し場かもめ会	海の環境美化啓発、地域にある海岸の美化及び住民間・世代間交流を図るため、芳川町海岸線全域の海岸清掃ならびに海に親しむイベントを実施。衣浦の海を巡る他市町の団体とも交流して、みなとまちづくり活動の活性化の一翼を担う。	99.15	A	継続 (再提案)
2	子ども防災リーダー養成事業 【再々提案2年目】	高浜の防災を考える市民の会	「自らの安全は自ら守る」「地域の安全は地域で守る」という意識を高めるため、高浜市の将来を担う子どもたち(小学4～6年生)をターゲットに、講座や体験をとおして、防災・減災に対する関心・理解を深めるとともに、「大家族たかはま」の一員として主体的な行動できる能力を高めていく。また、子どもたちへのアプローチをとおし、保護者などの若年層へも浸透・行動喚起を促し、家庭(個人)・地域・学校の連携を深めた「生きた防災教育」を推進し、地域防災力の底上げを図る。	86.00	A	継続
3	“昭和”で元気になる事業 【再々提案2年目】	“昭和”で元気になる会	高齢者の閉じこもり防止や地域からの孤立防止および介護予防を積極的に推進するため、昭和をテーマに「高齢者の生きがいづくり」を行う。高齢者の介護予防には適度な運動と脳の活性化が効果的であるため、誰でも気軽に参加できる、昭和の良き時代をテーマに思い出語りや盆踊りなどを仲間と一緒に楽しみながら実施する。	90.40	A	終了
4	次世代を担う子ども若者の成長応援事業 【通算10年目】	高浜(まち)づくり市民会議	市民ムービー「タカハマ物語」をとおして子ども・若者の輪をさらに広げ、自主的に企画し、カタチにしていく取組みや大人との交流などを通じて、さらに未来に羽ばたく人財の芽を育てていく。また、さまざまな関わりの中から、子どもたちのために汗を流していこうと活動する地域の大人を増やすこともめざす。	93.34	A	継続
5	高浜市中学生防災・減災アカデミー 【再々提案3年目】	高浜の防災を考える市民の会	想定されている巨大地震に対して、まだまだ市民の意識が上がらない中で中学生が防災リーダーとして、あらゆる場面で顔を出すことにより市民の防災意識向上につながる。また、子ども達が防災に関心を持つと、大人も一緒になって勉強する様になったり、小学校区の枠を超えて市内他校の人との交流ができ、児童に連帯意識が生まれるといった効果が見込まれる。	87.60	B	継続 (再提案)
6	多文化つながる事業 【提案2年目】	公益社団法人 트레이ディングケア	地域に住む多種多様な人々が安心して生活できるための居場所を作る。 ・食や農園を通じて交流を図る ・ごみの正しい捨て方を周知する など	89.84	A	継続
7	高浜市消防団応援事業 【提案2年目】	高浜市消防団 もりあげ隊	高浜市の安全・安心を守っている高浜市消防団員を確保する。 ・消防団活動を撮影し、PR動画を作成する ・SNS等を活用し、発信する など	83.00	A	継続

8	高浜市三州瓦鬼師応援事業 【提案1年目】	三州瓦鬼師応援隊	鬼みちまつりを開催当初の目的、原点に立ち返り、鬼あかり(ランプシェード)を通じて、市内外に「瓦(鬼瓦)」の素晴らしさを発信していくイベントとしてリニューアルする。	98.75	A	継続
9	サッカーを通じた、まちづくり事業 【提案1年目】	特定非営利活動法人Sansyu-tacoba	学生への健全育成事業、食育講習事業、地域美化事業等を実施し、小・中学生とともにサッカーを通じたまちづくりを進めていく。	93.83	A	継続

市民予算枠事業（協働推進型）の採択に係る評定区分表

評定	評 点	次年度交付額の算定基準（上限額）
A	80点以上	初年度交付額の10分の10の額
B	60点以上80点未満	初年度交付額の10分の8の額
C	50点以上60点未満	初年度交付額の10分の5の額
D	50点未満	不採択